

令和 4 年度第 1 回会議資料 2 に対するご意見について

嘉麻市子ども・子育て支援事業計画の見直しに係る書面表決の際に頂いたご意見です。

【各事業について】

意見の事項	意見の内容	市の見解
教育・保育の各年度の状況と見直しについて（資料 2 P2）	<p>・日本社会は超少子高齢化等により子どもを育てることができづらい社会となっており、政府は異次元の少子化対策を発表し、また「こども家庭庁」を立ち上げ子育てしやすい環境に対してサポートしようとしています。このような中保育士不足が叫ばれている保育所においても少子化の影響か利用定員を減少させる施設が増加しています。</p> <p>今回の事業計画では見直しをしない理由として、小中一体義務教育学校の開校により子育て世帯の流入が見込まれるとありますが、それはどこから来るもののでしょうか。今までも小中学校はそれぞれで開校されていたものが一体校となるものであり、だからといって人口流入にはならないものと考えます。見込が甘いのではないのでしょうか。</p>	<p>新しく開校した義務教育学校に通うことを目的に、その校区に引っ越してこられる方や、「嘉麻市転入者等住まい応援交付金」を活用して、嘉麻市へ転入して来られる方を見込んでいます。</p> <p>特に、義務教育学校の校区内では、民間の住宅分譲地が新たに造成されるなどしており、子育て世帯（中学生以下の子どもがいる世帯）の転入も確認しているところです。</p> <p>なお、「嘉麻市転入者等住まい応援交付金」の市外からの転入実績は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度：37 世帯 126 人 ・令和 3 年度：45 世帯 149 人
5. 養育支援訪問事業（資料 2 P8）	<p>・実人数は増加しており、母子や父子のシングル家庭等支援を必要とする家庭は増加しているものと思われます。全体的な訪問回数が減った理由は母集団そのものの数が減ったからではないのでしょうか。児童虐待等も全国的には増加しており、支援を必要とする家庭はまだ増えるものと思われます。</p>	<p>ご指摘のとおり、支援を必要とする家庭は増加傾向にありますが、全体的な訪問回数の減は、新型コロナウイルス感染症の影響で計画通りに訪問できなかったことが、大きな要因です。なお、訪問できないときは電話による対応を行っておりました。</p> <p>引き続き、養育支援が特に必要な家庭に対し、養育に関する指導・助言等を行い、適切な養育の実施に努めます。</p> <p>なお、量の見込み等につきましては、今年度の実施状況等を勘案し、検討してまいります。</p>

意見の事項	意見の内容	市の見解
6. 子育て短期支援事業（資料 2 P9）	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しなしの理由として「新型コロナウイルス感染症によりレスパイト利用…」とありますが、果たしてコロナだけが実績増加の理由なのでしょうか。保護者がどう子育てすればよいのかがわからない若者であったり、コロナ以外で子どもを育てる環境にない保護者が増加しているのではないのでしょうか。 	<p>ご指摘のとおり、今後は支援を必要とする家庭の増加に伴う利用増も考えられます。</p> <p>利用者の状況等を的確に把握し、保護者の身体的・精神的負担の軽減、子どもとその家庭の福祉の向上に努めます。</p> <p>なお、児童虐待防止の観点から子育て支援課では、本事業の積極的な利用の案内を視野に入れておりますので、量の見込み等につきましては、今年度の利用状況等を勘案し、検討してまいります。</p>
7. ファミリーサポートセンター事業（資料 2 P10）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績 0 ということですが、単にこの事業を知らない人が多いのではないのでしょうか。見直しする必要はないですが市民サービスとしての PR 不足を感じます。 	<p>本市ではファミリーサポートセンター事業を実施していないため、利用実績が 0 となっております。</p> <p>なお、本年度実施するアンケート調査では、ファミリーサポートセンター事業について分かりやすい説明を心がけます。</p>
10. 病児・病後児保育事業（資料 2 P14）	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しなしということですが、市内南東部に 1 か所だけの事業では車を持たない保護者では利用ができません。南北に長い嘉麻市では少なくとも北部にあと 1 か所は必要なのではないのでしょうか。また医療機関との連携が必要になるため公立（鴨生保育所や役所内とか）又は医療機関立の施設が必要なのではないのでしょうか。 ・自市内での病児保育ができるように進めてほしいと思います。 	<p>症状が急変することはないものの回復期に至っていないお子様をお預かりする病児保育は、医療機関に併設されることが多いようです。これまでも小児科を有する病院に病児保育事業の実施について働きかけを行ってまいりましたが、実施には至っていないのが現状です。</p> <p>保育士や看護師等の配置が必要で、人員の確保が難しいこと、全国的に赤字運営となる事業所が多いことなど、さまざまな課題がありますが、引き続き検討してまいります。</p> <p>なお、嘉麻市民の方は、嘉飯圏域</p>

		定住自立圏事業として飯塚市内の2ヶ所で実施されている病児保育をご利用いただけます。
--	--	---

【事業計画の見直しについて】

意見の内容	市の見解
<ul style="list-style-type: none"> ・今年5月からコロナが5類に引き下げとなることも加味する必要があると思います。 ・事業計画の見直しについて事務局案の通りコロナの流行により見込みと実績の正確な乖離率が出ていないと思うので、今後コロナ流行前の生活に戻ったあと、数年を調査をして行き見直しを行っていきべきだと思います。 	現時点で新型コロナウイルス感染症の5類移行後の影響について見通しを立てることは難しいため、令和5年度以降の各事業における実績の推移等を注視しながら、次期計画に反映させるなどの対応を検討してまいります。